

## 議決権行使レポート

証券コード 6844

会社名 新電元工業

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分	○		
第2号議案 取締役選任			
田中 信吉 氏	○		
堀口 健治 氏	○		
受川 修 氏	○		
佐々木 正博 氏	○		
西山 佳宏 氏	○		
北代 八重子 氏	○		
第3号議案 監査役選任	○		
森田 俊英 氏	○		
第4号議案 補欠監査役選任			
千葉 昌治 氏		○	

### 上記の推奨をした理由

#### 第1号議案

同社は株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けている。業績や競争力を維持するための内部留保を考慮すると一株あたり130円という配当額は妥当であり、また、増配しているため株主に対する利益還元は果たされていると考える。したがって議案に賛成する。

#### 第2号議案

現代表取締役社長である田中信吉氏は、国内外の営業部門を経験しており、また、電子デバイス事業本部を牽引するなど実務経験を有している。2017年から取締役を務め経営の監督を適切に行なってきたことから今後も同社の安定的な成長を実現する経営を期待できる。よって再任に賛成する。

堀口氏、受川氏、佐々木氏に関してはそれぞれ設計生産や金融部門において専門的な知識や豊富な経験と実績を有しており、役職において安定した指揮能力を発揮した経験があるため取締役として適した人材であると判断でき、選任に賛成する。

西山氏は他社の代表取締役を歴任しており、企業経営者としての豊富な経験と幅広い知識を有している。このことから同社の経営において独立な立場から適切なアドバイスが行

える人材であると考え、選任に賛成する。

北代氏は他社において社外取締役就任しているほか、弁護士としての専門的な知識、経営に関する高い見識を有しており、同社の経営に対し独立な立場から適切な助言ができる人材と判断できる。また、男性が多くを占める取締役において、女性取締役が入ることは多様化推進の観点からも評価でき選任に賛成する。

### 第3号議案

森田氏は内部監査部長を務めた経験があり、また同社の関連会社において取締役社長を務めた経験も持つ。経営についての豊富な業務経験・知識を持ちつつ、監査の経験も持つため監査役として適切な人材と判断できる。このことから選任に賛成する。

### 第4号議案

千葉市は現在執行役を務めているが経営・監査の経験が十分にあるとはいえず、また2000株近い同社株式を有する。独立した適切な監査が行えるとは十分には判断できないため選任に反対する。